

水・泥や小さな生き物との出会い

水や裸足が心地よくなる季節。砂場で水を使ってダイナミックに遊んだり、泥団子づくりをしたり、五感をつかっていっぱい遊びました。心地よさ、楽しさを存分に味わいながら、様々なことを試し、気づきや発見もたくさんありました。



水がいっぱい！
気持ちいいね！



作った泥団子、山から転がしてみよう・・・



うまく水が流れそう！

砂・水・泥などの感触を存分に味わいながら、物の変化や特性に気付いたり、自分なりに予想を立ててみたことを試したり・・・そんな日々の遊びが、「知りたい」「学びたい」という意欲につながってほしいと願っています。



透明のビニールシートに絵を描いたよ！



ビニールシートはその後、キャンプごっこのテントになりました。



田口山小学校の1年生が、生活科の授業の一環として幼稚園に来てくれて、一緒に水や泥で遊びました。



小さな生き物との 出会い



「かわいい!」「触ってみたい」



「僕の方を見て!」
「登るの上手やなあ!」



カエルになって・・・
「ここは水が流れてるところだよ」

子ども達の住んでいる辺りでは
なかなか見ることが難しいカエルや
オタマジャクシなどの小さな
生き物に出会う機会をつくりたい
と思い、職員で穂谷へ出かけ、幼稚園に連れて帰りました。
見たい、触れたいする中で、命を大切にする気持ちや、「おもしろい
な」「不思議だな」という気持ちを味わい、生き物と触れ合うから
こそこの経験ができました。



カレーパーティー



幼稚園で収穫したジャガイモ・玉ねぎを使って、5歳児がカレーを作りました。

包丁を使って野菜を切ったよ!



「すみれ組さん、カレーを作ってくれてありがとう!」



「いい匂いだね!」
「早く食べたいね!」

